

介護職員等処遇改善加算にかかる情報公開（見える化要件）

介護職員等処遇改善加算の算定要件のひとつ、「見える化要件」について、加算の算定状況および、職場環境等の改善にかかる取り組み内容をホームページへの掲載等により公表することが求められていることから、以下のとおり公表いたします。

加算の算定状況（令和 8 年 6 月～）

東彼杵町通所介護事業所 「介護職員等処遇改善加算Ⅰロ」
東彼杵町居宅介護支援事業所「介護職員等処遇改善加算」 を取得している事業所です。

介護職員等処遇改善加算の算定要件

- A キャリアパス基準
- B 月額賃金改善要件
- C 職場環境等要件

以上 A～C の 3 種類の要件を満たすことが必要です。

当法人は介護職員の人材確保をさらに推し進め、介護現場で働く方々にとって、賃金のベースアップにつながるよう要件整備を行っています。

職場環境要件を満たすために実施した取り組み項目および、その具体的な取り組み内容

～入職促進に向けた取り組み～

職場環境等要件	当法人としての取り組み
法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	毎月の会議や研修で法人理念および運営方針の情報を共有している。
職場体験の受け入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施	毎年、小中学校の職場体験を積極的に受け入れ、実際の体験を通して介護の仕事を知る機会を作っている。

～資質の向上やキャリアアップに向けた支援～

職場環境等要件	当法人としての取り組み
働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	受講費用の補助や勤務シフトの考慮、有給取得等、職員が働きながら資格取得を目指しやすい環境を整えている。
研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	外部研修を定期的、計画的に受講可能な仕組みを設け、人事評価と連動し職員全員の資質向上を図る。

～両立支援・多様な働き方の推進～

職場環境等要件	当法人としての取組み
子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	育児休業、介護休業などの制度活用を積極的に促進し、活用しやすいように体制を整えている。また急な休みにも対応できるように勤務シフトを工夫している。
有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声かけを行っている。	個々の状況にあわせ時間単位、半日単位での柔軟な形での有給休暇の取得が可能。

～腰痛を含む心身の健康管理～

職場環境等要件	当法人としての取組み
短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	毎年、全職員の法人負担での健康診断を受診している。従業員のための休憩室も設置し、健康管理対策を実施している。
職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策の研修	ミーティングや業務検討会または、日々の業務の中でスライディングボードの活用等、職員の身体の負担軽減を目的とした介護技術の修得を行っている。

～生産性向上のための取組み～

職場環境等要件	当法人としての取組み
厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築（委員会やプロジェクトチームの立ち上げ、外部の研修会の活用等）を行っている	事業所内での会議等で、業務手順を明確化や業務内容の見直しについて意見を出し合いながら、業務改善を図っている。介護ソフトやタブレットを活用した記録業務の効率化等、生産性向上に努めている。
現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している	法人全体の会議や各事業所単位での定例会議の際、現場の声を聞き課題の抽出や把握を行い、解決に向けて検討している。
介護ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入	パソコンやタブレットの介護ソフトの活用で情報共有、ケアプランデータ連携システムの導入や記録の電子化による業務負担の軽減を行っている。

～やりがい・働きがいの醸成～

職場環境等要件	当法人としての取組み
ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	ミーティングや定例会の中でコミュニケーションの円滑化、ヒヤリハット報告や事故報告の共有化によりケア内容の統一や改善を図っている。
地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	小中学校の福祉教育の一環として利用者との交流や学生ボランティアを積極的に受け入れている。また、イベント時には地域のボランティアを活用している。